

(平成27年9月分)

部 門	市況の概要
(青果部の動向) 全 般	9月の青果物は、盆以降の曇雨天及び台風の影響を受けた品目があるものの、前年同月比入荷量が4%上回り、野菜の高単価によって価格は前年同月並みとなった。 10月は、近郷野菜では紫ずきんが終盤を迎え、万願寺とうがらしは漸減していくものの、大カブ及び赤カブ並びに海老芋等の根菜類の出荷が徐々に始まる。 果実では、梨は終盤を迎え、巨峰等のブドウも漸減していくものの、ラ・フランスの出荷が始まり、極早生ミカン及び刀根・平核無は最盛期となる。リンゴは津軽からシナノスイート及び富士等へ最盛期が切り替わる。
野 菜	野菜は、北海道の土物類が豊作傾向であったものの、天候不順や朝晩の冷え込みによる影響が果菜類等であったため、高値基調で推移した。入荷量は前年同月比6%上回り、平均単価は前年同月並みとなった。 根菜類は、前年同月比入荷量が5%上回り、単価は4%上回った。 葉菜類は、前年同月比入荷量が6%上回り、単価は3%上回った。 果菜類は、前年同月並みの入荷量となり、単価は8%上回った。 土物類は、前年同月比入荷量が14%上回り、単価は5%下回った。
果 実	果実は、前進出荷傾向であり、8月の出荷量が増え、9月の出荷量が前年を割り込んでいる品目があるものの、柿等は9月出荷分が前年より多くなっている。高温によるブドウの着色不良や台風等の天候不順により、下級品の割合が多くなる品目があった。入荷量は前年同月比8%下回り、平均単価は前年同月並みとなった。 柑橘類は、前年同月比入荷量が8%下回り、単価は前年同月並みとなった。 リンゴ類は、前年同月比入荷量が12%下回り、単価は前年同月並みとなった。 ナシ類は、前年同月比入荷量が9%下回り、単価は3%上回った。 柿類は、前年同月比入荷量が42%上回り、単価は前年同月並みとなった。 ブドウ類は、前年同月比入荷量が10%下回り、単価は7%上回った。 メロン類は、前年同月比入荷量が13%上回り、単価が13%下回った。

主要品目（野菜）	市況の概況
【根菜類】 長ダイコン	北海道を中心に青森，岩手，兵庫，滋賀から入荷され，入荷量が前年同月並みとなり，消費の低迷から価格は６％下回った。
西洋ニンジン	北海道を中心に中国から入荷され，入荷量が前年同月を２１％上回り，昨年は長期的な価格低迷であったものの，例年並みに回復し，価格は３０％上回った。
【葉菜類】 ハクサイ	長野を中心に北海道から入荷され，入荷量が前年同月を１５％上回り，価格は７％下回った。
キャベツ	群馬を中心に長野，北海道，滋賀，茨城から入荷され，入荷量が前年同月を３％上回り，需要は高かったため，価格は４％上回った。
ホウレンソウ	岐阜を中心に鳥取，滋賀，京都，茨城から入荷され，入荷量が前年同月を６％下回り，価格は６％上回った。
レタス	長野を中心に北海道，茨城，滋賀から入荷され，入荷量が前年同月を１３％上回り，価格は５％下回った。
【果菜類】 キュウリ	北海道を中心に福島，京都，滋賀，愛媛から入荷され，入荷量が前年同月を７％下回り，価格は１４％上回った。
ナス	京都を中心に徳島，高知，山梨，岐阜から入荷され，入荷量が前年同月を２５％下回り，価格は１８％上回った。
トマト	北海道を中心に岐阜，熊本，茨城，京都から入荷され，入荷量が前年同月を２１％下回り，価格は１０％上回った。
ピーマン	大分を中心に茨城，兵庫，青森から入荷され，入荷量が前年同月を５％下回り，価格は１２％上回った。

【土物類】

バレイショ
(メイク含む)

北海道を中心に青森から入荷され、入荷量が前年同月を４％上回り、メイクインは入荷が少なく、高値基調となったため、価格は３％上回った。

タマネギ

北海道を中心に兵庫、京都、中国から入荷され、入荷量が前年同月を31%上回り、価格は8%下回った。

【その他野菜】

松茸

中国を中心にカナダ、長野、岩手、和歌山から入荷され、入荷量が前年同月を21%上回り、価格は8%下回った。

栗

京都を中心に愛媛、茨城、熊本から入荷され、入荷量が前年同月を9%下回り、京都産は小玉（L～M）の比率が高く、単価が伸びなかったため、価格は前年同月並みとなった。

--	--

主要品目（果実）	市況の概況
ミカン	宮崎を中心に福岡，和歌山，熊本，愛媛から入荷され，入荷量が前年同月を7％下回り，昨年は減産傾向で比較的高値であったことから，単価は前年同月並みとなった。
津軽 （サン含む）	青森を中心に長野，岩手から入荷され，入荷量が前年同月を10％下回り，昨年は着色良好で比較的高値であったことから，価格は前年同月並みとなった。
豊水梨	長野を中心に富山，福島，鳥取，京都から入荷され，入荷量が前年同月を15％下回り，価格は4％上回った。
二十世紀梨	鳥取を中心に京都，長野，福島，石川から入荷され，入荷量が前年同月を13％上回り，昨年は食味不良から単価が振るわなかったことから，価格は前年同月並みとなった。
刀根・平核無柿	和歌山を中心に奈良から入荷され，入荷量が前年同月を39％上回り，ミカン等他の果実類の入荷が減少した影響から，価格は前年同月並みとなった。
巨峰	長野を中心に山梨，福岡から入荷され，入荷量が前年同月を14％下回り，価格は6％上回った。
アールス	静岡を中心に茨城，長野，石川から入荷され，入荷量が前年同月を16％下回り，下位等級が入荷の大半となり，価格は5％下回った。